

やまゆり

学校だより

令和5年4月24日
6号
学校長 杉本賢二

校訓 「和の心」
学校教育目標 「社会に貢献しながら自立する生徒の育成」一気づき・考え・実行するー

学校教育重点目標 「生徒の良さを伸ばし、課題を改善する連携」

CS(コミュニティ・スクール)説明会・PTA総会を行いました

4月20日(木)にCS(コミュニティ・スクール)説明会を教育委員会主催で行いました。国の方針で全ての小・中学校がコミュニティ・スクールへの移行を求められています。

道志小中学校では、令和5年度に1年間かけて準備し、令和6年度から本格実施します。山梨大学の日永教授にコミュニティスクールの目的や内容・活動等について説明をしていただきました。より良い学校教育を通して、より良い地域づくりを推進するために、「学校運営協議会」の組織をつくり保護者や地域の方々の総力で児童・生徒の健全育成を推進するために、今後ご理解とご協力をお願いいたします。

その後、体育館から多目的ホールに移動して令和5年度のPTA総会を開催しました。佐藤PTA会長さんをはじめとする令和4年度の理事の方々には、ご協力を頂きまして本当にありがとうございました。令和5年度は山本会長を中心とする理事の皆様にご協力を頂きながら、決定したPTA活動によって、さらに発展させていきたいと思っております。よろしくをお願いいたします。

小中の教職員・保護者



CSを推進する佐藤教育長



日永教授の説明



旧役員の皆さんで進行



令和5年度PTA総会
会場の様子



中学校職員の紹介



旧役員の皆さん



感謝状の贈呈



新役員の皆さん



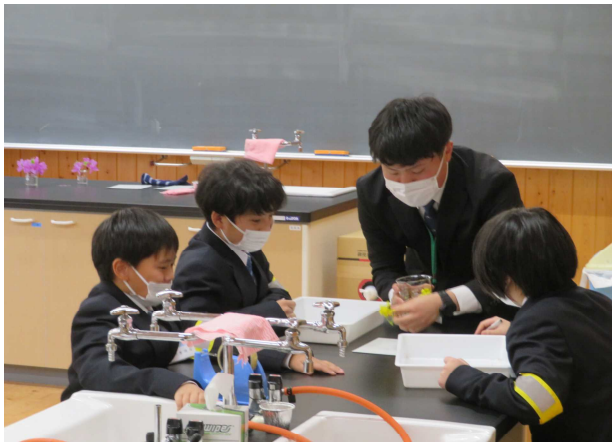
学校教育重点目標 「 確かな学力の育成 」

各学年の確かな学力を育む授業参観の紹介

4月20日(木)は各学年の学習指導の様子を公開し、保護者の方々に参観していただきました。1年生は、理科の学習で単元は、「生物の特徴と分類の仕方」に関わる内容です。本校では全教科で「単元を貫く課題解決学習」に取り組んでいます。理科では①自然現象に対する気づき②課題の設定③検証計画の立案④観察・実験⑤結果の処理⑥考察⑦表現等を踏まえて学習します。当日は、観察や実験に関する知識技能を身に付け、いろいろな生物の共通点や相違点を見出し、生物を分類するための観点を学ぶ学習の基礎を行いました。

生徒一人一人が植物を観察し、気づいた点を交流しながら主体的に学習することができました。ICT活用による視覚的な情報も効果が高かったと思います。

丁寧に説明する組谷先生

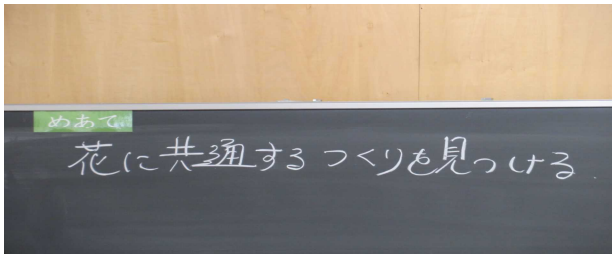


学習目標の提示

保護者の参観の様子 ありがとうございます



各自が植物の特徴について集中して観察



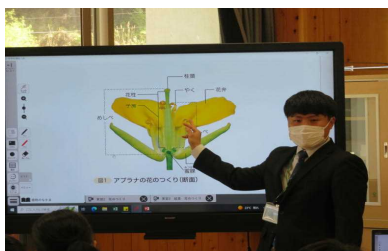
考えを交流する生徒



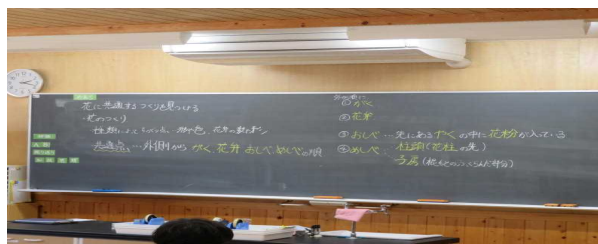
比較・関連付け・共通点と相違点等の基礎を学ぶ生徒



ICT活用で視覚的な理解の援助



学習のまとめを黒板で整理

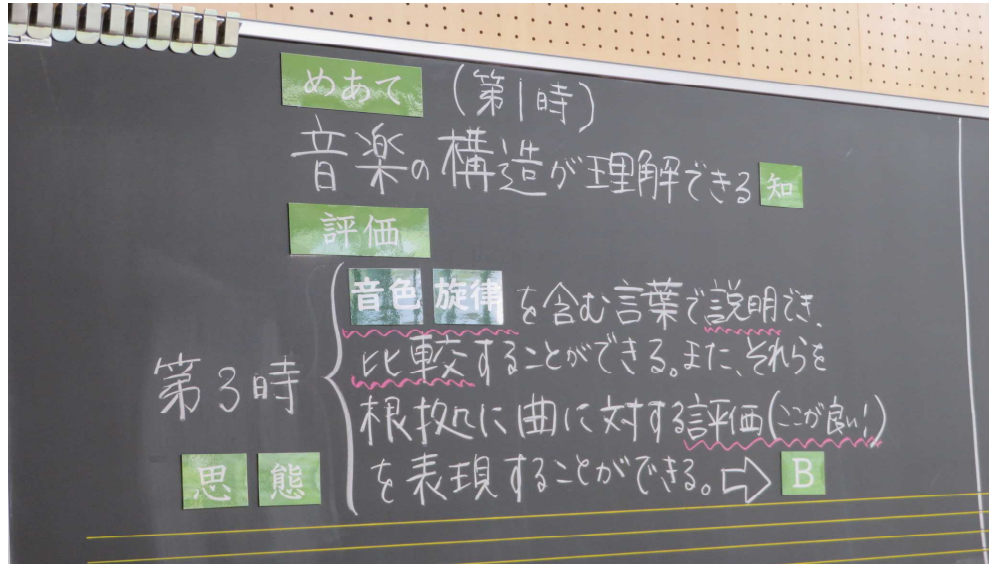


2年生は、高村先生の音楽の学習指導でした。ベートベンの運命の構造について課題追求し、その秘密を探る学習でした。学習目標と課題設定の明確な提示。

そして、「音色や旋律を含む言葉で説明・比較する事を根拠に、良い点を表現する」ことが出来ればB評価。2つの要素と展開や形式の特徴について表現出来るとA評価という規準を説明しています。課題を追求する生徒の集中力と、自分の考えを交流する生徒の主体性、生徒の多様な意見を目標に向かってまとめる様子等を参観することが出来ました。

めあてや評価規準を説明・可視化

指導者：高村先生

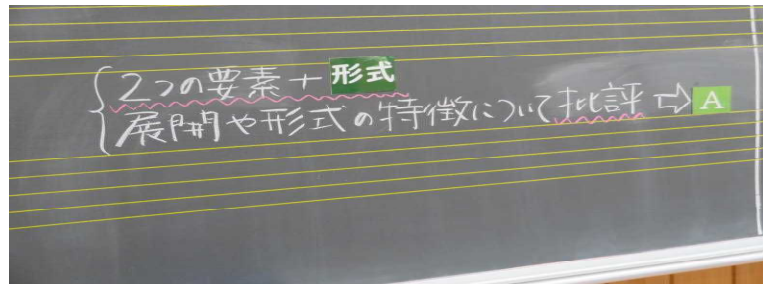


学習指導の様子



課題設定の工夫

A評価も提示(文科はB評価提示:しかし、A評価提示は重要)

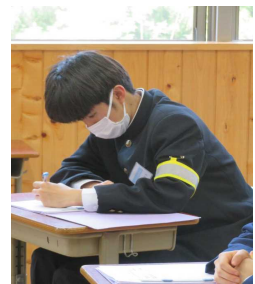


ICT・音響機器の活用

自力解決に向かう生徒



多様な意見をまとめる指導



作曲者の意図を表現や形式から読み解き、類推する学習

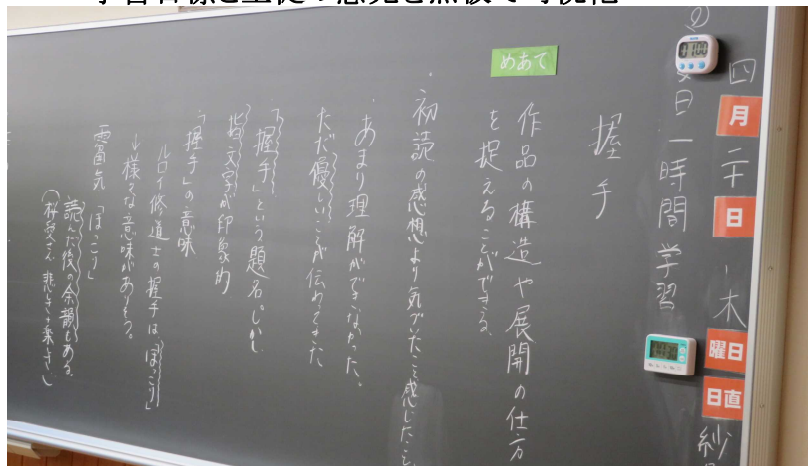


3年生は天野先生の国語の学習でした。「握手」という小説の構成や展開をとらえ、その工夫の効果を考えながら作者の意図を考える学習でした。

初読の感想から、手がかりになることを出し合い、課題設定の方向性を決めていく学習でした。作品の構成や展開に関わる知識・技能を生かし、思考・判断・表現しながら、何かを伝えるためにどのような言葉の工夫をしたのか。また、その効果はどのようなものであるかを生徒自身が根拠を基に自分で考え表現し、意見交流しながら真実に迫る単元の学習でした。

意見を主体的に発表する生徒の様子に、学びの意欲を感じました。

学習目標と生徒の意見を黒板で可視化



自分の考えをICTを活用して形成



先生の説明・人の意見をしっかりと聞ける生徒

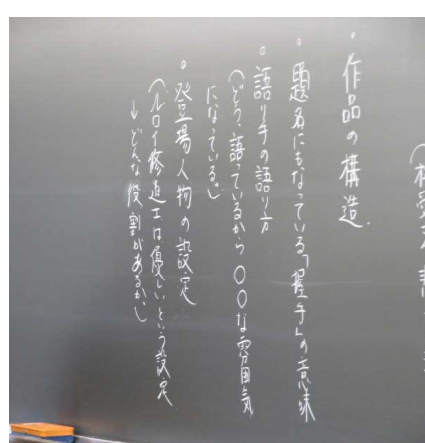
思考する生徒

意見交流する生徒



積極的に意見を発表する生徒の様子

課題設定に関する意見



本校の校内研究

本校の課題 ・9年間の固定した人間関係 ・教職員の人事異動

対策

- チーム学校(教職員の協働体制)
- 標準化検査で優先順位と根拠を明確化
- 学級の班で一人一人の居場所づくり
- 単元の課題追求による学習指導
- 早稲田大学河村研究室の教授等による専門家指導
- 公開研究会による研究

